

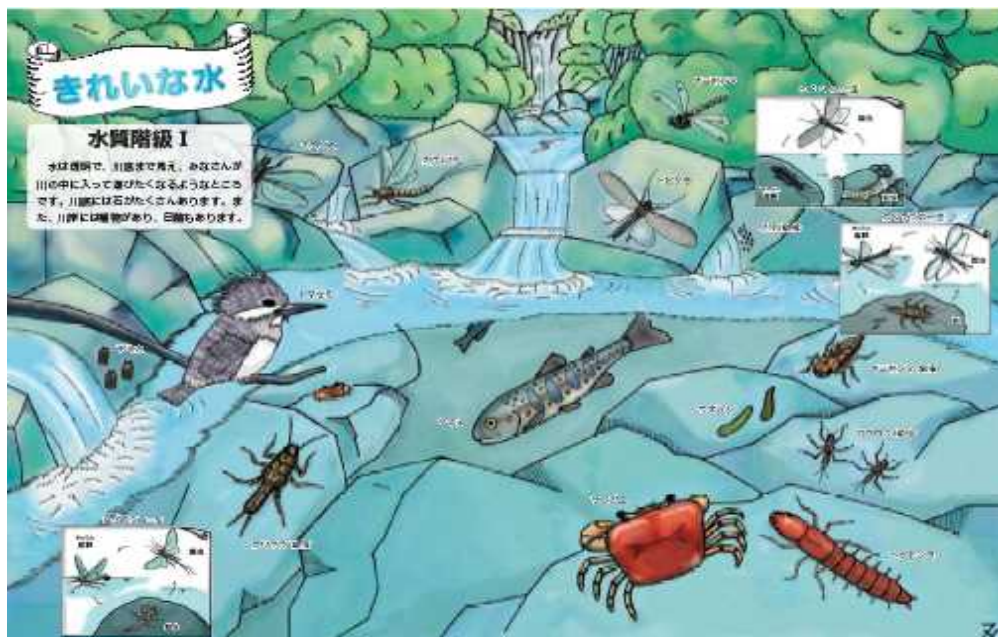
# 全国水生生物調査の概要

【参考1】

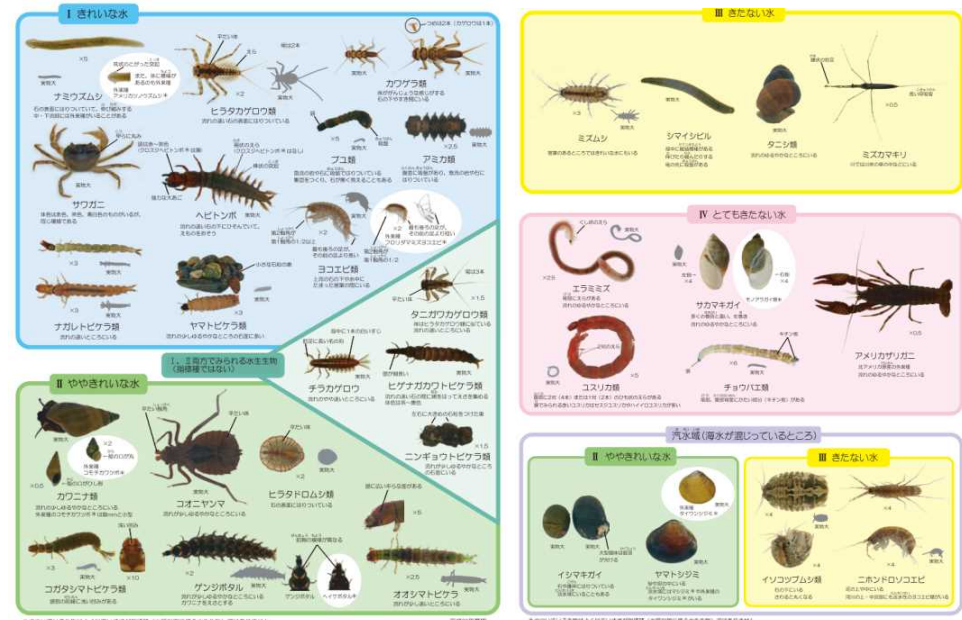
川の中には様々な生きものが住んでいます、特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

## 調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。  
河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、I (きれいな水)、II (ややきれいな水)、III (きたない水)、IV (とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。



## 水質階級と指標生物



きれいな水 (I) の指標生物		ややきれいな水 (II) の指標生物	
ナミウズムシ	サワガニ	カワニナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	ブユ類	○ ヤマトシジミ	○ イシマキガイ
アミカ類	ヨコエビ類		
きたない水 (III) の指標生物		とてもきたない水 (IV) の指標生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマキリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
○ ニホンドロソコエビ	○ イソコツブムシ類	チョウバエ類	
I, II両方で見られる水生生物 (指標生物ではない)			
ヒゲナガカワトビケラ類	ニンギョウトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	チラカゲロウ		

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物

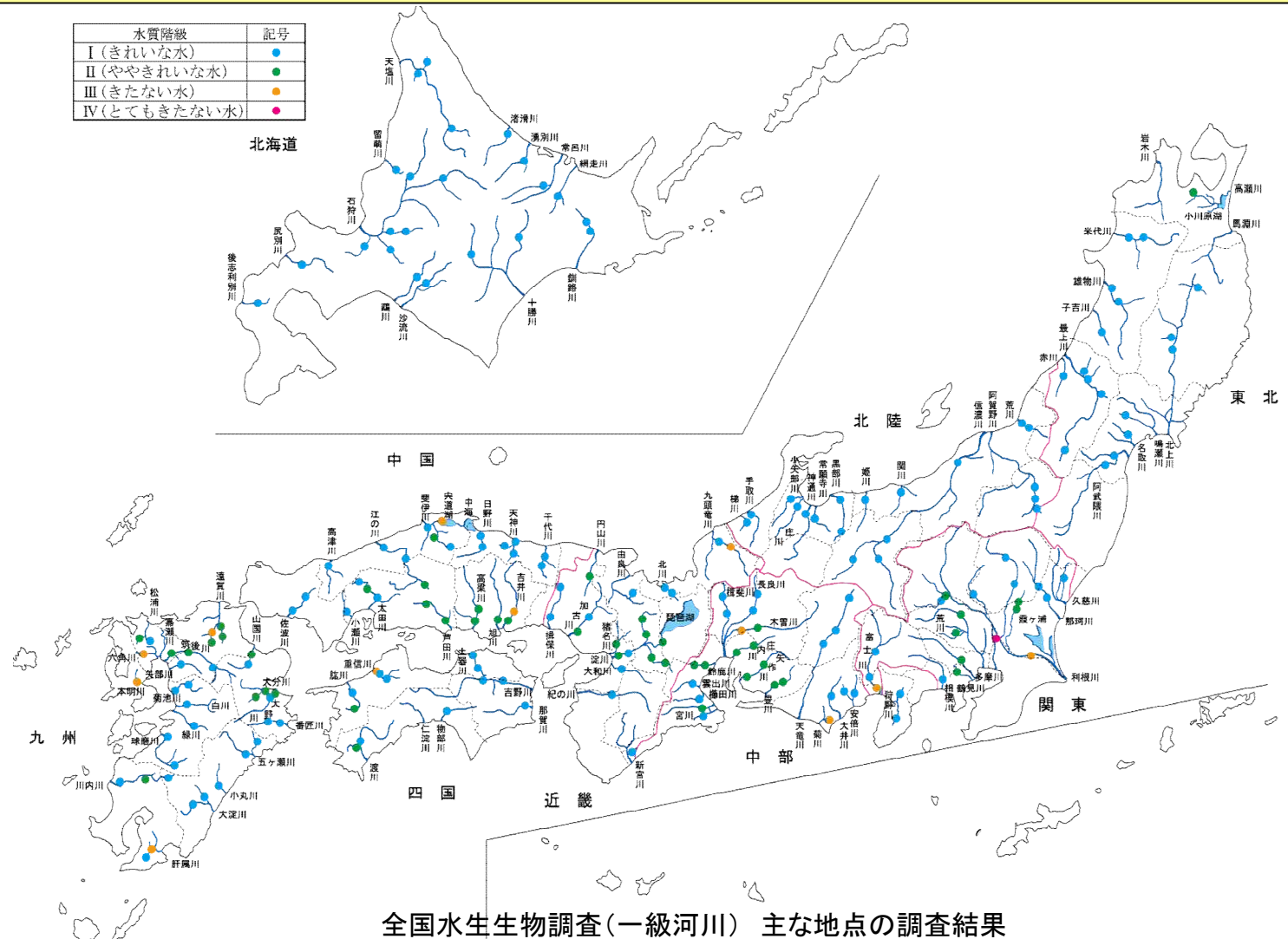
# 平成26年度 全国水生生物調査(一級河川)の状況

【参考2】

平成26年度一級河川の全国水生生物調査では、夏休み期間を中心に、小中学校や市民団体等473団体、17,002人の多数の参加を頂き、522箇所の調査地点数となりました。参加者数の多い都道府県は、北海道、三重県、兵庫県、島根県等でした。

また、熊本県球磨川においては、水生生物調査にあわせて水難事故防止訓練を行い、より多くの子どもたちが参加して川の多様な流れを実感できるまたとない機会となりました。

水質階級	記号
I(きれいな水)	●
II(ややきれいな水)	●
III(きたない水)	●
IV(とてもきたない水)	●



全国水生生物調査(一級河川) 主な地点の調査結果



最上川水系最上川(H26.7.4)



天竜川水系天竜川(H26.8.4)



球磨川水系川辺川(H26.9.15)